

梅雨前線による大雨について(第1報)

(土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒)

<ポイント>

上空の寒気や梅雨前線の影響で、西日本から東北地方にかけての日本海側を中心に、7月1日(土)にかけて大雨となる。

<概況>

6月29日(木)は、上空の寒気の影響で、西日本から北日本で、大気の状態が非常に不安定となる。また、30日(金)にかけて、次第に梅雨前線の活動が活発となって、朝鮮半島から本州へ前線がのび、7月1日にかけて、本州の南岸付近まで南下する。

<大雨>

29日は、西日本から北日本では、局地的に雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。梅雨前線の活動が活発となる30日から1日にかけては、西日本から東北地方にかけての日本海側を中心に、雷を伴った非常に激しい雨が降り大雨となる。なお、28日(水)からの局地的な大雨の降った近畿地方から東北地方では、地盤が緩んでいる所や増水している河川がある。

<警戒事項>

土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。

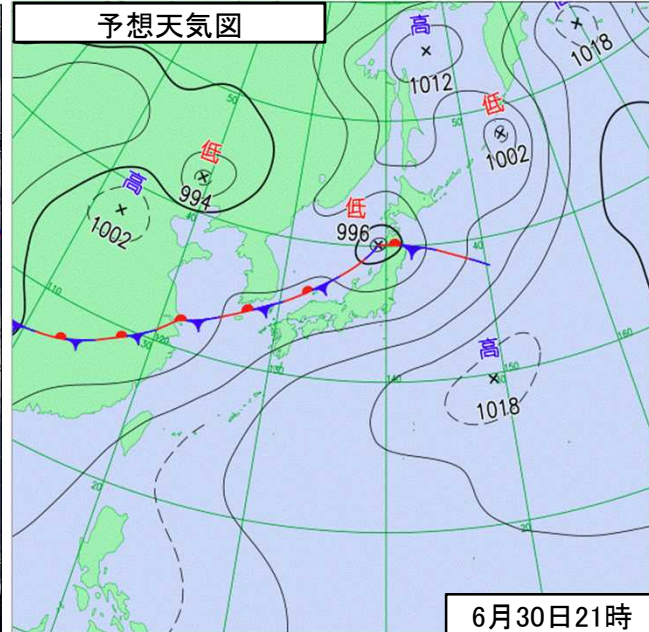
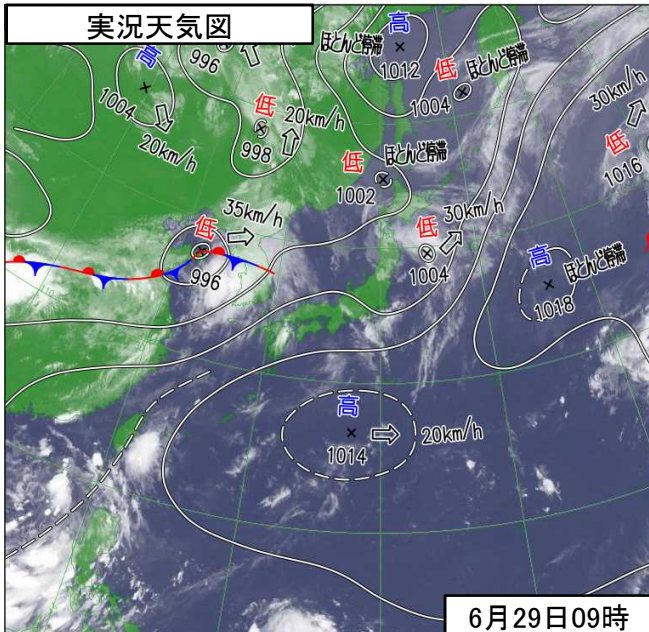
<2日(日)以降の見通し>

梅雨前線は、2日以降も日本付近に停滞し、西日本を中心に大雨となるおそれがある。

【警報級となる可能性のある期間】

日	時	29日		30日		1日	2日	3日	4日
		12~18	18~6	6~24					
北海道地方	大雨								
東北地方	大雨								
関東甲信地方	大雨								
北陸地方	大雨								
東海地方	大雨								
近畿地方	大雨								
中国地方	大雨								
四国地方	大雨								
九州北部地方	大雨								
九州南部	大雨								

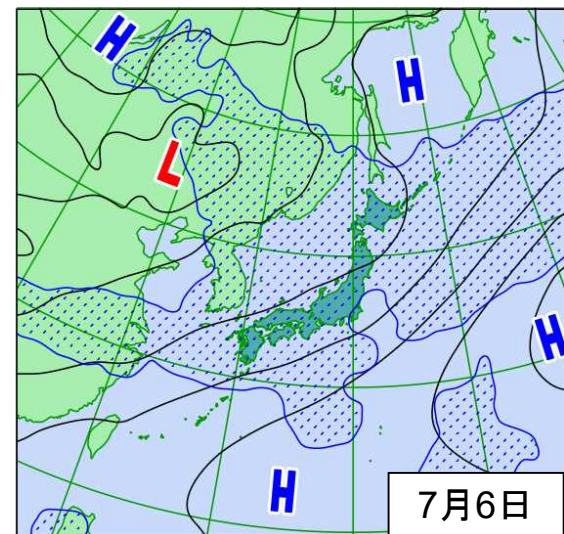
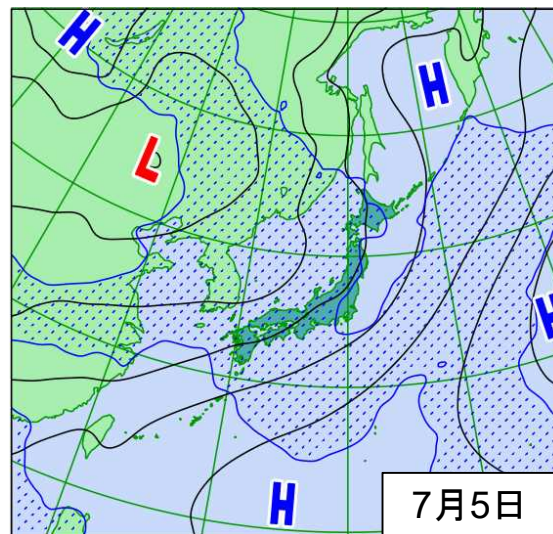
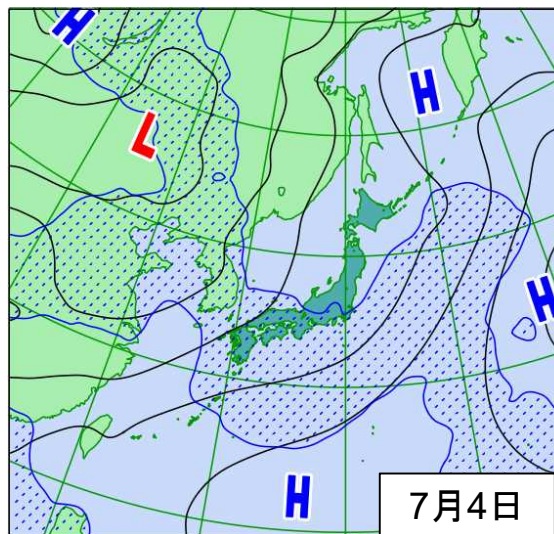
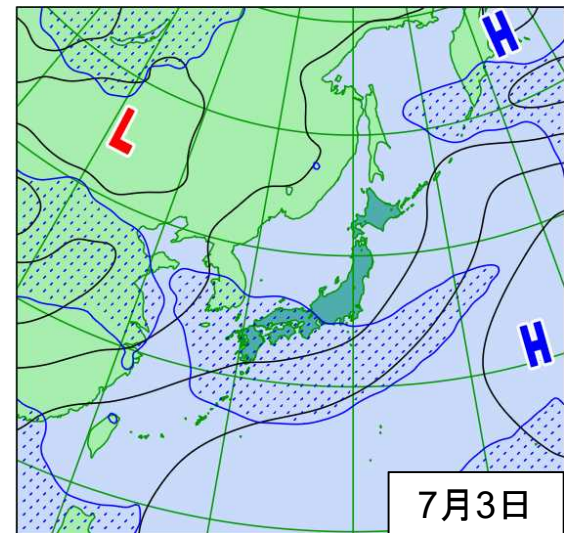
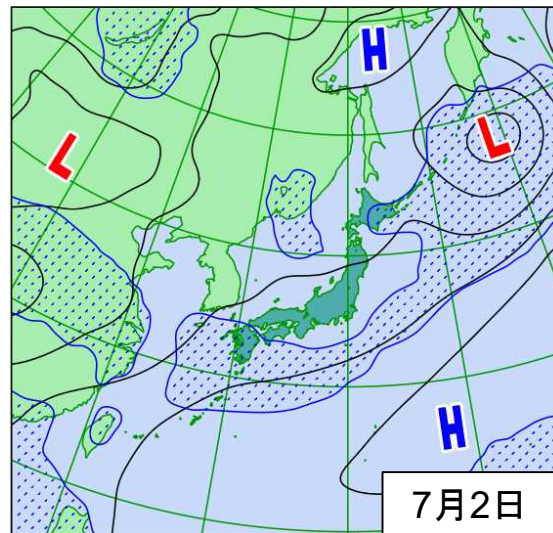
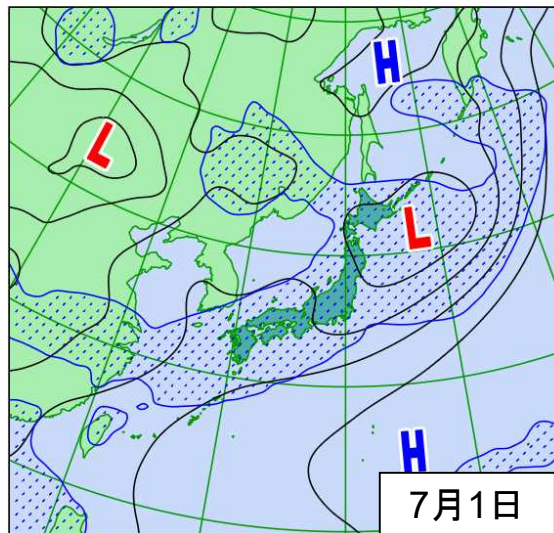
(黄色が可能性がある、赤色が可能性が高い)




【大雨の見通し】(単位:ミリメートル)

地域	30日12時までの24時間雨量	1日12時までの24時間雨量	2日12時までの24時間雨量
北海道地方	80		
東北地方	80	100~150	およそ50
関東甲信地方	120	100~200	50~100
北陸地方	100	100~200	50~100
東海地方	100	100~200	50~100
近畿地方	100	100~200	50~100
中国地方	120	100~200	およそ50
四国地方		100~150	50~100
九州北部地方	150	200~300	50~100
九州南部	150	100~200	50~100

今後1週間の見通し



L: 低気圧、H: 高気圧

 : 降水が予想される範囲

<ポイント> 梅雨前線は、2日以降も日本付近に停滞し、西日本を中心に大雨となるおそれがある。